

スリーエム(MMM)

【セクター】 資本財・サービス

【市場】 NYSE

【企業概要】

グローバルに展開する産業部材の会社で、オフィス、ヘルスケア、エレクトロニクス、自動車、交通インフラ、通信、建設など幅広い産業分野に5万5,000種に及ぶ製品を供給します。部門別売上は、セーフティ&インダストリアル35%、トランスポーション&エレクトロニクス29%、ヘルスケア21%、コンシューマー15%（19年4-6月期、同期より組み替えられています）、地域別売上は、米国39%、アジア太平洋31%、欧州・中東・アフリカ20%、ラテンアメリカ・カナダ9%です（18年12月期）。

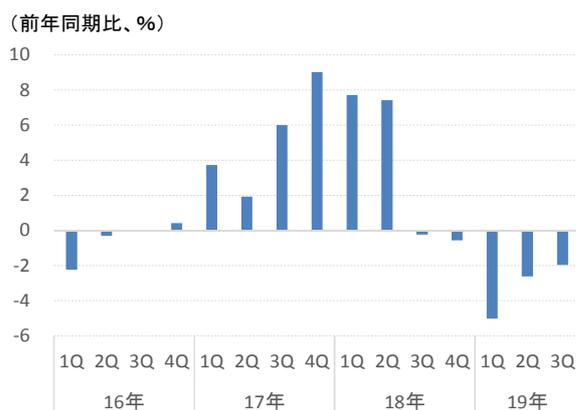
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
17年12月期	31,657	5,239	8.55	4.70	19.4	47.9	30.6
18年12月期	32,765	6,104	10.14	5.44	17.0	57.2	27.0
19年12月期予想	32,162	5,322	9.09	5.66	19.0	50.5	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

【主要指標】

図表1 四半期売上伸び率の推移



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

図表2 部門別・地域別オーガニック成長率（%、19年7-9月期）

部門・地域	受注
セーフティ&インダストリアル	-3.3
トランスポーション&エレクトロニクス	-3.4
ヘルスケア	2.0
コンシューマー	2.6
米国	-1.1
アジア太平洋	-4.4
欧州・中東・アフリカ	2.0
ラテンアメリカ・カナダ	2.8
合計	-1.3

(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

粘着剤、フィルム、セラミックス、研磨剤、不織布などに関するコア技術をあらゆる産業のニーズに適用して革新的な部材や製品を供給していくというのが同社のユニークなビジネスモデルです。例えば、粘着剤の技術を、文具のポストイットから、病院で使われるチューブ固定テープ、電子部品のパッケージ、建材の接着に活用していくといった具合です。アイデアが枯渇するまで伸びることができるビジネスモデルと言えるでしょう。ただ、産業向けが多いため、産業景気への感応度が高い傾向があります。

【見通し・注目点】

19年から23年にかけての中期経営計画では売上のオーガニック成長率目標として年3~5%を掲げていますが、19年は達成困難となっています。7-9月期の売上のオーガニック成長率は前年同期比1.3%減と4-6月期の同0.9%減から悪化しました。世界景気の減速、米中貿易摩擦の長期化など事業環境の悪化を受けて4-6月期にリストラを実施、下半期にはコスト削減の効果が出てきます。同リストラの効果もあって7-9月期の営業利益は前年同期比0.2%減にとどめました。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 19/10/30)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。